



義美食品觀光工廠 生產・生態・生活產區



SNET台湾 みんなの台湾修学旅行ナビ  
[https://taiwan-shugakuryoko.jp/spot\\_north/418/](https://taiwan-shugakuryoko.jp/spot_north/418/)



エリア

桃園市

テーマ

環境

産業

食文化



# 義美食品觀光工廠 生産・生態・生活廠区

## 伝統的な優良食品ブランドから 台湾人の食生活を考える

義美(IMEI)は、1934年に台北の大稻埕で開業した菓子店を起源とする老舗食品メーカーです。現在ではお菓子、乳製品、冷凍食品など、様々な商品を生産、販売しており、台湾のスーパー・マーケットやコンビニエンスストアには、必ず義美の製品が置いてあるほど有名な企業です。また、企業として環境問題や食の安全の問題に取り組んできたことでも知られています。この観光工場でも、製品の製造工程を見学できるだけではなく、工場で出た汚水の処理などについて学べる生態園区、企業の歴史や安全基準などについて学べる博物館、お菓子づくりを体験できるDIY工房などを併設しており、様々な角度から台湾の食文化を理解することができます。

### 学びのポイント

#### 1.

##### 義美はどうやって台湾の食文化をリードしてきたか？

義美は日本統治時代に設立され、戦後台湾の経済発展とともに企業として成長し、国際化しながら、変化する台湾消費者のニーズに応えてきました。それができた要因としては、「食品産業は誠実であり、良心的でなければならない」という企業理念のもとで、台湾の人々の嗜好の変化のみならず、社会、文化、環境など食文化をとりまく幅広いテーマに関心を持ち続けてきたことが挙げられるでしょう。また、台湾内のコンビニエンスストアとの協力、マクドナルドなど国際的な外食チェーンとの協力など、その時々のトレンドにあわせて販売経路を拡大してきたことも重要です。

#### 2.

##### 台湾人の食生活はどのように変わってきたのか？

義美の商品や販売方法の変遷、事業内容の拡大などを見ていくと、台湾人の食生活の変化を知ることもできます。博物館では、婚礼や祭祀などで好まれる伝統的な中華菓子から始まった義美の看板商品が、徐々に現代的なパイナップルケーキ、さらにはクッキーなどへと変化していく様子、同じ商品でも時代によってパッケージが変わっていたことなどを知ることができます。また、近年では核家族化や健康志向などにあわせた商品が好まれていることもわかります。さらに、義美の事業内容がサプリメントなどにも及んでいることも、台湾人の食生活の変化をあらわしています。